「虹色工房１chi」「虹糸」の商標権活用【INPIT 青森県知財総合支援窓口】

企業情報

虹色工房１chi

所在地	青森県青森市		
ホームページURL	https://1chi.official.ec/about		
設立年	2018年	業　種	卸・小売業
従業員数	１人	資本金	200万円

企業紹介

当社は津軽伝統工芸品のこぎん刺し糸や刺し子糸を染色し販売するショップとして８年前に事業を開始しました。生産量日本一のカシスの残さや全国シェア６割の青森りんごの剪定枝を始め青森ヒバ、青森県産の藍、ふきのとう、よもぎ、くりなどで染色したオリジナルの糸を販売しており、学校関係者からの注文や県外のデパート等での展示即売会に対応し販路を拡大しています。

相談のきっかけ

同社は開業以来、売上げが徐々に上向いてきたことからブランド化を進めたいと考え、開業当初から使用している糸の名称である「虹糸」や、こぎん刺し用に一期一会の糸を求めて染色していることから命名した「虹色工房１chi」を商標登録して保護・活用したいと考え、窓口に相談に来られました。

支援概要



窓口では先行商標調査の方法や商標登録のプロセス、費用などを説明したところ、早々に手続したいとのことから自前で商標出願を行った結果「虹色工房１chi」（商標登録第 6158179 号）、「虹糸」（同第 6158180 号）が登録され商品への使用を開始しました。ショップ内で染色作業をしていますが、染色方法には独自の技術やノウハウが含まれているため、秘匿の重要性を伝え、不正競争防止法で保護されるための要件を助言しました。その後、品質が評価され、ブランド化が定着し、家庭科の教諭等の学校関係者からまとめて購入されるようになり、メディアからの取材のオファーも増えました。雇用の際には染色技術の秘密保持契約を助言し、取材で見学依頼があっても秘匿情報を意識して対応されるようになりました。

支援成果

2019 年のコロナ禍で出店イベントがほとんどなく収入減の状況下では「虹糸」をセット販売する新年福袋を企画販売し、登録商標が商品価値の支えとなり好評を得て危機を乗り切りました。2020 年８月には阪急うめだ本店「うめだスーク」、同年９月には同手芸品売場「セッセ」の常設コーナーで販売を開始し、2022 年３月から札幌カナリア本店 POP UP で展示即売会を開催するなど販路が拡大しています。最近では県内の道の駅からオファーがあり「虹糸」コーナーでの販売を開始しました。

企業コメント

商標登録により商品の出所が明確になったことで信用が一段と高まり、ブランドの確立と売上げ向上につながったと考えています。注文に当たり「虹色工房１chi さんですか」「虹糸さんですね」といった問合せがあり、商標登録が活用されていることを実感しています。商品への自信と消費者の皆様からの安心感は商標登録したことが大きく影響していると考えています。

支援担当者コメント（氏名：今野　峰子）



りんごの花が咲きマメコバチが受粉してりんごの実がなるように、糸屋である菅原代表は自らが県産素材で染色した糸を販売し、購入者が「つがるこぎん刺し」を制作し、りんごが結実するように作品を完成させることで、つがる伝統工芸品を知財で守りブランドとして活用しておられます。津軽のこぎん刺しの文化と産業発展にパイオニアとして貢献される菅原代表をこれからも支援してまいります。